

理学院における教育の質向上サイクル活動：院長レベル

2018年8月24日

段階	項目	備考：具体的内容・実施方法など
Plan	<ul style="list-style-type: none">・ 中期目標・中期計画（教育）の策定・ 大学全体に関わる事項の確認・ 教育環境の確認・ 理学院における教育支援活動の確認・ 全学基礎教育に関わる教育支援活動の確認	<p>—— { 理学院教育賞，授業参観 新入生オリ，保護者向け説明会 高校出張講義</p>
Do	<ul style="list-style-type: none">・ 学内他組織との調整・ 理学院における教育支援活動の実施・ 全学基礎教育に関わる教育支援活動の実施・ 学院内各系における教育活動のモニター	
Check	<ul style="list-style-type: none">・ 理学院における教育支援活動の把握・ 学院内各系における教育活動の把握・ 全学基礎教育に関わる教育活動の把握	<p>{ 理教務委を通しての情報収集 学生との懇談会 ほか</p>
Act	<ul style="list-style-type: none">・ 中期目標・中期計画(教育)の達成の点検・ 検証方法の検証	<p>中期計画年次報告を利用 理運営委員会・理教務委などにおいて検証 必要に応じて教員ポストの配置・再配置</p>

「教育の質向上サイクル」活動例 理学院 数学系

1. 系・コースレベル

1. 小さなことでもよいので、授業・演習に関する特別な取り組みについて一定期間ごとに報告してもらい、それを教員全体で共有する機会を持つ。報告件数を指標として用いる。
2. 数学相談室の相談件数および満足度を調べる。相談の内容や質問について記録を行う。それらを教員全体で共有する機会を持つ。

2. 各教員レベル

各教員レベルにおいては、以下のサイクルができています。



「教育の質向上サイクル」活動例 理学院 物理学系

1. 系としての実施案

物理学系では、これまでも教育委員会が中心となり、カリキュラム、授業実施方法等について種々の問題を議論し改善策を策定、実行してきている。(先日も授業担当決定の際に学部、院連携を強めることが決定されるなど、実質的な実行例は多い。)教育委員会以外にも、実験実施のための担当者会議などもあり、教員間では日常的に情報が共有され、改善が図られる体制となっている。
今後も引き続き教育改善を行ってゆくが、今後数年は、特に教育改革の結果の検証・改善を行ってゆく。具体例の一つとしては、現在のカリキュラムの問題点に関するアンケート調査を系内で行い、問題点の整理、改善案の策定・実行を行ってゆく。

例)カリキュラム改善

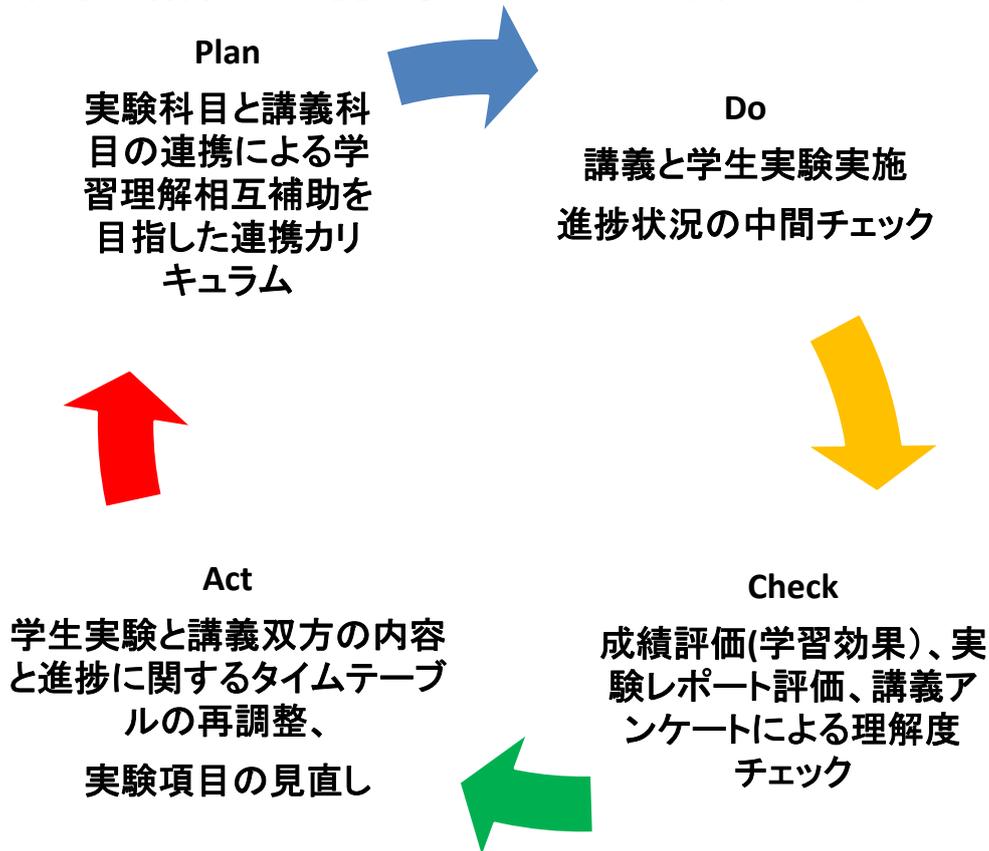


2. 教員としての実施案

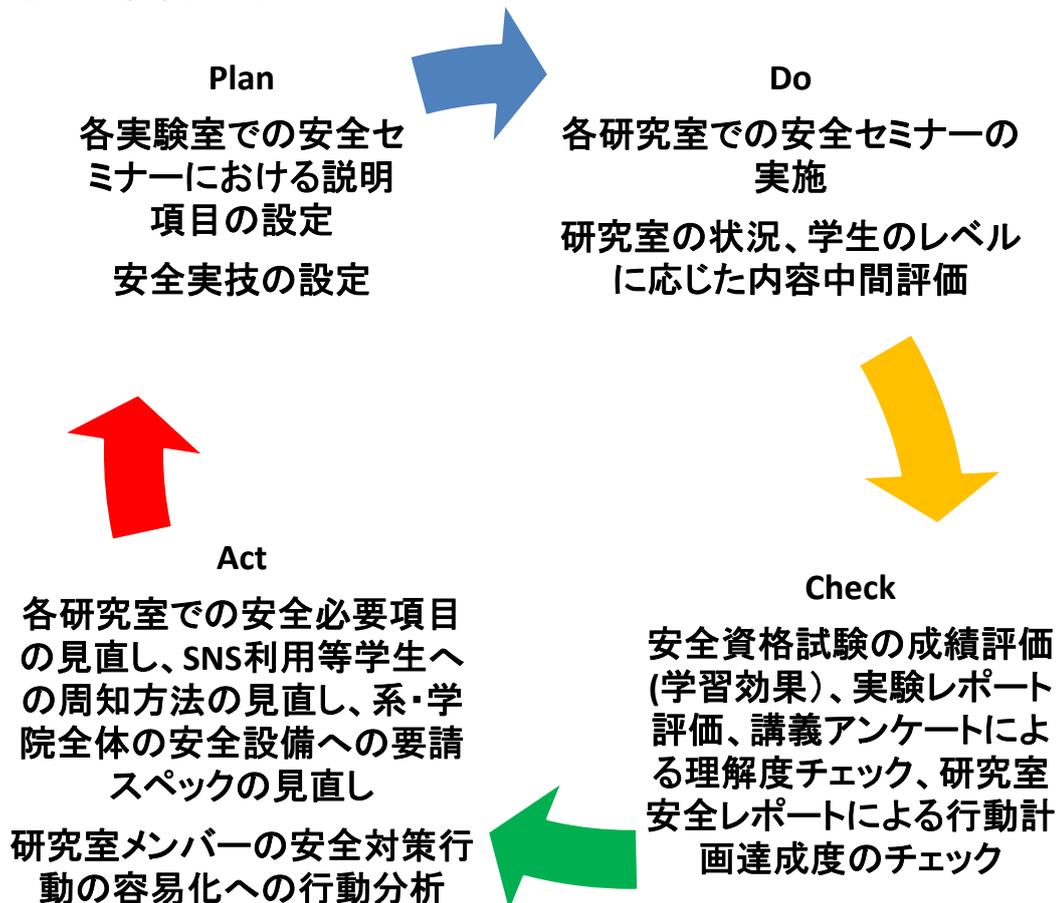
各教員が各担当科目において、その都度入念に計画を練り、それに沿って修正を加えながら授業を実行し、授業実施後に反省を行い次の授業に役立ててゆくことが一番重要である。
加えて、既に行ってはいるが、FD 研修参加、授業参観参加等を通してさらに質の向上をはかる。



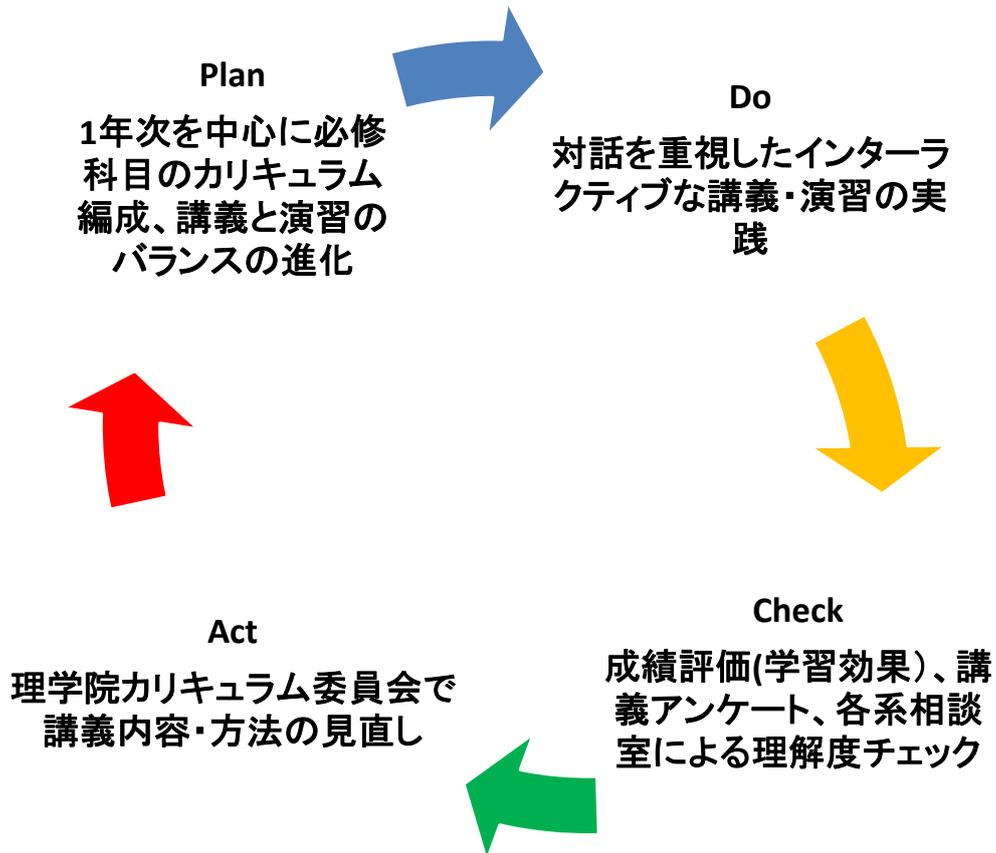
学生実験と講義の連携の強化による化学実践教育の進化



化学安全教育の進化



理学院における教育の質向上サイクル体制の構築に向けて



「教育の質向上サイクル」活動例 理学院 地球惑星科学系



系・コースレベル



教員レベル